

平成 27 年 度 事 業 報 告

(自)平成 27 年 4 月 1 日 (至)平成 28 年 3 月 31 日

1. 新規・重点事業

(1) 狭山市地域福祉推進計画及び支部地域福祉活動計画の推進

狭山市地域福祉推進市民会議の開催

狭山市地域福祉推進計画に基づき、計画を進行管理する機関として「狭山市地域福祉推進市民会議」を設置しました。

地域福祉推進市民会議（計画推進のための市と協働の会議） 4 回開催

計画書の配付等

狭山市地域福祉推進計画の冊子 500 部を狭山市及び本会の関係者等へ配付したほか、概要版を 7 月の市報と同時班回覧しました。併せて、計画書を本会のホームページに掲載しました。

支部地域福祉活動計画の推進

支部社会福祉協議会が策定した支部地域福祉活動計画の推進を図るため、支部社会福祉協議会の活動を支援しました。

(2) 生活困窮者自立支援事業の実施

平成 27 年 4 月から施行された生活困窮者自立支援事業を狭山市から受託し、自立相談支援事業、家計相談支援事業、就労準備事業を行いました。

相談件数等

《相談件数》	362 件
《プラン作成件数》	76 件
《住居確保給付金支給件数》	16 件
《自立、就労件数》	23 件
《支援調整会議》	11 回開催 62 件

普及啓発等

- ・社協だより、市報、民児協広報誌、ケーブルテレビなどでの周知
- ・広報用ポケットティッシュの作成
- ・民児協全体研修会、人権擁護委員協議会研修会
- ・埼玉県社会福祉協議会主催による会議での実践報告 など

生活福祉資金や福祉サービス利用援助事業との連携

生活福祉資金等の貸付を希望する人の初期相談を生活困窮者自立支援事業の相談支援員が担うことで、生活困窮者支援の際に貸付以外の方法も提示するなどの連携をしました。また、家計相談の中で、本人たちでは家計管理が困難な場合に福祉サービス利用援助事業に相談をつなぐなどの連携をしました。

(3) 生活支援物資の利活用

防災用の食品・缶詰・レトルト食品・カップ麺など、家庭等に眠る生活支援物資の寄付を募り、生活困窮者支援として活用しました。

《寄付受入件数》 38件

《支援件数》 89名 163件

(4) 介護保険法改正に伴う地域支援事業等に関する調査研究

介護保険法改正に伴う地域支援事業に関する調査研究

第1層生活支援コーディネーターの役割と社協地域福祉事業の連携の効果等について調査研究しました。10月から狭山市より生活支援コーディネーター業務を受託し、狭山市の社会資源一覧の作成、第1層協議体の設置など、生活支援体制整備を推進しました。

介護保険法改正に伴う安定した介護保険事業の経営に関する調査研究

介護報酬改定に対応する取り組みや地域支援事業の動向する研修会等に参加をするほか、取り組みが進んでいる介護保険事業所等の内容を確認しました。

(5) コミュニティソーシャルワーカーの配置に関する調査研究

コミュニティソーシャルワーカー基礎研修への参加 3名

生活困窮者自立支援事業と連動させた実践

生活困窮者自立支援事業の相談を切り口に、引きこもりの人に対する地域との連携した支援体制の構築や、ゴミ屋敷についての訪問活動などの実践にも取り組みました。

(6) 社協活動への理解の促進

事業を実施する際には、のぼりを設置するなど、本会の活動であることをPRしたほか、本会職員が活動していることが一目でわかるよう、ユニフォームを作成しました。また、会員会費や共同募金の際に、単位自治会の会議での説明をできるよう、自治会への働きかけをしました。

(7) 歳末たすけあい支援金の改編

歳末たすけあい支援金の見直しをし、生活困窮者自立支援事業との関連づけをした2つの事業にリニューアルしました。

生活困窮者緊急用生活費給付事業(10月から2月で実施) 47件

生活困窮者自立支援事業による相談をした生活困窮者のうち、生活再建のために一時的な生活費の給付が必要であると認められた方に対して支援金を給付しました。

高校進学支援金給付事業(2月から3月で実施) 8校16名

狭山市内の公立中学校に通う中学3年生のうち、修学の意欲が旺盛で、高校進学が決定したものの、家庭の経済的困窮等により、入学準備が十分にできない恐れのある方で、学校長からの推薦を得られる方に対して支援金を給付しました。

(8) 彩の国あんしんセーフティネット事業への協力

平成26年度から始まった埼玉県内の社会福祉法人が行う社会貢献活動である、「彩の国あんしんセーフティネット事業」への協力をしていくため、埼玉県社会貢献基金への拠出をするとともに、生活困窮世帯への支援をしていく社会福祉施設と連携をしました。

《連携件数》 23件

2. 会の運営

(1) 理事会 4回開催

第1回理事会 4月1日

- 議案第 1号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会会長の選任について
- 議案第 2号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会副会長の選任について
- 議案第 3号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会職務代理者の指名について
- 議案第 4号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会常務理事の指名について
- 議案第 5号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会支部設置規程の一部改正について

第2回理事会 5月26日

- 議案第 6号 新規事業の開始について
- 議案第 7号 老人介護支援センター事業の廃止について
- 議案第 8号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会定款の一部改正について
- 議案第 9号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 議案第10号 平成27年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算

(案)について

- 議案第 1 1 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
- 議案第 1 2 号 平成 2 6 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告
について
- 議案第 1 3 号 平成 2 6 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定
について
- 議案第 1 4 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員の同意について

第 3 回理事会 1 2 月 8 日

- 議案第 1 5 号 新規事業の開始について
- 議案第 1 6 号 平成 2 7 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第 2 次補正予算
(案)について
- 議案第 1 7 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会特定個人情報・雇用管理情報
管理規程について
- 議案第 1 8 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- 議案第 1 9 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員規程の一部改正
について
- 議案第 2 0 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
- 議案第 2 1 号 平成 2 7 年度社会福祉大会顕彰対象者について

第 4 回理事会 3 月 1 7 日

- 議案第 2 2 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
- 議案第 2 3 号 狭山市社会福祉活動基金設置規程の一部改正について
- 議案第 2 4 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会経営安定化基金設置規程の
一部改正について
- 議案第 2 5 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- 議案第 2 6 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会公印規程の一部改正について
- 議案第 2 7 号 平成 2 7 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第 3 次補正予算
(案)について
- 議案第 2 8 号 平成 2 8 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画(案)
について
- 議案第 2 9 号 平成 8 7 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算(案)に
ついて

(2) 監査会 2回開催

第1回監査会 5月19日

議案 平成26年度会計決算監査について

第2回監査会 11月18日

議案 平成27年度事業及び予算執行状況について

(3) 評議員会 3回開催

第1回評議員会 5月28日

議案第 1号 新規事業の開始について

議案第 2号 事業の廃止について

議案第 3号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会定款の一部改正について

議案第 4号 平成27年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算
(案)について

議案第 5号 平成26年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告
について

議案第 6号 平成26年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定
について

議案第 7号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会役員の選任について

第2回評議員会 12月22日

議案第 8号 新規事業の開始について

議案第 9号 平成27年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第2次補正予算
(案)について

第3回評議員会 3月24日

議案第10号 平成27年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第3次補正予算
(案)について

議案第11号 平成28年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画(案)に
ついて

議案第12号 平成28年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算(案)に
ついて

(4) 正副支部長会議 3回開催

第1回正副支部長会議 6月9日

1. 平成27年度会員募集及び協力について

2. 平成26年度狭山市社会福祉協議会事業報告について
3. 平成27年度狭山市社会福祉協議会の主な新規事業・重点事業について
4. 狭山市地域福祉推進計画について
5. 地域のつながりと支え合いを考える集い、地域福祉活動推進研究会について
6. 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練並びに避難者名簿作成訓練について
7. 食事サービスにかかわる衛生管理の対応について
8. 在宅福祉サービス研修会（衛生講習会）について
9. 地域わくわく事業について
10. 敬老会について

第2回正副支部長会議 1月8日

1. 金婚祝写真贈呈事業について
2. 平成27年度地域ふくし支援金（会員会費）について
3. 生活支援コーディネーター事業の受託について
4. 平成27年度狭山市社会福祉協議会上半期事業報告について
5. 第36回社会福祉大会について

第3回正副支部長会議 3月30日

1. 地域ふくし支援金（会員会費）について
2. 平成28年度事業計画について
3. ボランティア活動保険等について
4. 各支部総会について

3. 委員会の運営

- | | |
|----------------------|------|
| (1) 助成金交付事業審査委員会 | 2回開催 |
| (2) 手話通訳者派遣事業運営委員会 | 2回開催 |
| (3) ボランティアセンター運営委員会 | 2回開催 |
| (4) ささえあい狭山運営委員会 | 5回開催 |
| (5) さやま成年後見センター運営委員会 | 4回開催 |

4. 財源の確保

- (1) 社協会員の加入促進 8,324件 6,400,000円
既存会員の会費納入及び新規会員の加入募集
- (2) ささえあい狭山会員の加入促進 564件 1,128,000円
- (3) 社会福祉活動基金の運用
国債等で運用を図りました。
受取利息配当金収入 9,358,764円
- (4) 赤い羽根共同募金 8,514,044円
埼玉県共同募金会狭山市支会に協力
- (5) 歳末たすけあい募金 5,934,808円
埼玉県共同募金会狭山市支会に協力
- (6) 社協だより「ふれあい」へ広告掲載
広告料収入 200,000円
- (7) 寄付金
寄付金収入 2,798,697円

5. 事務局体制・機能の強化

業務運営会議、職員任用委員会、勤務評定を実施するとともに、研修への積極的な参加を図り、人材育成・交流・適正配置に努めました。

- (1) 研修 138回
埼玉県社会福祉協議会、全国社会福祉協議会等による研修に積極的に参加することで、本会職員としてのスキルアップを図りました。
参加した主な研修
会計研修、人事労務管理研修、社会福祉協議会活動全国会議、自立相談支援事業相談支援員養成研修、埼玉県生活支援コーディネーター養成研修、権利擁護・虐待防止セミナー など
- (2) 事務局機能の強化
グループウェアを活用し、情報の共有を進め、業務の効率化を図りました。

- (3) 職員任用委員会の開催
- (4) 勤務評定の実施
- (5) 職員の自己申告制度の実施

6 . 調査研究

- (1) 学ぶ機会、世代間交流事業調査研究
- (2) 地域福祉に関する社会資源の活性化の研究
- (3) 団体のネットワークにかかる調査研究

7 . 連絡調整

関係機関との連携の充実・強化を図りました。

- (1) 狭山市自治会連合会・狭山市民生委員児童委員協議会・市役所職員との連携
会員会費、共同募金（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の協力を依頼し、実施しました。
また、民生委員・児童委員協議会の活動に対する補助金を交付し、地域福祉活動の支援を行ったほか、平成 2 8 年度の民生委員一斉改選に向けた内申代表者会議などにも参加しました。
- (2) 狭山市介護保険事業者協議会への参加
狭山市介護保険サービス事業者協議会に参加、介護保険関連情報の把握や介護保険事業所との連携を図り、介護保険事業の円滑な運営を行うとともに、介護サービスの質の向上に努めました。
- (3) 狭山市自立支援協議会への参加
狭山市自立支援協議会の代表者会議や実務者会議に参加し、障害者福祉サービスに関する関係機関・事業所との連携を図り、障害者福祉サービスの質の向上に努めました。
- (4) 入間川・入間川東地区、入曽・水野地区、富士見・狭山台地区、堀兼・奥富・新狭山地区、柏原・水富地区地域包括支援センター主催による日常生活圏域会議への参加をしました。
- (5) 協働委員会、青少年を育てる市民会議、障害者福祉プラン推進懇談会、子育て支援ネットワーク会議など狭山市の主催する会議への参加をしました。

8．普及宣伝

- (1) 広報委員会 委員会の見直しのため、開催せず
- (2) 社協だより「ふれあい」の発行
年4回(4月・7月・10月・1月)発行 各回56,900部
なお、10月号では創刊150号を迎え、社協事業の紹介や賛助会員の市内企業に協賛を募り、プレゼントクイズ企画を行いました。
- (3) ふれあいこころちゃん放送 4回(5月・7月・10月・1月)
- (4) 諸事業の広報用印刷物発行
- (5) ホームページの更新 36回(アクセス数13,623件)
- (6) ブログの更新 37件(アクセス数45,889件)
- (7) ガイドブック 1,000部作成

9．支部社協への支援

- (1) 正副支部長会議を通して市社協と支部社協の連携
平成27年度から新たに支部長への委嘱状を交付
- (2) 支部社協の諸事業に協力・援助(活動費交付等)
- (3) 支部社協在宅福祉サービス推進事業に協力・援助
在宅福祉サービス事業交付金を10支部に交付
支部社協地域福祉活動計画推進への協力
支部活動に関連する情報提供
年2回、給食サービス実施の支部社協に対する検便の実施

10．在宅福祉サービスの推進

- (1) 市社協における推進
在宅福祉サービス推進委員会 委員会の見直し中のため、開催せず
研修会 1回
《開催日》 7月3日(金)
《内容》 衛生講習会
《参加者》 62名
見守り事業
- (2) 支部社協における推進
支部在宅福祉サービス推進委員会

孤立予防、安否確認のための給食サービス、友愛訪問、茶話会、ふれあいサロンの実施、支部だよりの発行
支部社協地域福祉活動計画の推進

1 1 . 福祉教育

(1) 福祉体験教室の実施

車椅子・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験・障害者等の講話・昔遊び体験、点字体験の指導を小学校・中学校等で実施しました。

《件数》 35件

(小学校 12校、中学校 2校、小学校・中学校合同 1校)

《対象者数》 3,249名

小学生・中学生向けの認知症サポーター養成講座(キッズ講座)も新たなメニューとして実施しました。

(2) 福祉教育サポーター養成講座

《開催日》 8月21日(金)

《会場》 社会福祉会館 大会議室

講話

疑似体験「車椅子体験・ガイドヘルプ体験・高齢者疑似体験」

意見交換

《参加者》 4名

1 2 . 高齢者福祉

(1) 金婚世帯へ祝写真贈呈

市内写真館の協力を得て、結婚50年を祝い金婚祝写真の贈呈を行いました。

《贈呈》 24組 《実施日》 9月~1月

対象を本会の会員に限定しました。

(2) 介護者ふれあいの会の活動援助

在宅介護者の会への助成を行い、在宅介護者の情報交換の場づくりを支援しました。

(3) 敬老事業(市からの受託事業)

富士見、新狭山地区は支部で実施、奥富地区は、地区を4か所に分けて実施その他の地区は、自治会・施設で実施(75歳以上対象)123箇所で開催

地 区	開 催 日	招待者数	出席者数	出席率
入間川東	9月19日～10月25日	1,392名	376名	27.0%
入間川	9月13日～11月15日	1,093名	554名	50.7%
富士見	9月4日、12日	1,993名	314名	15.8%
入 曽	9月2日～10月11日	4,761名	3,085名	64.8%
堀 兼	9月12日～10月16日	1,806名	727名	40.3%
奥 富	9月6日～21日	645名	350名	54.3%
柏 原	9月6日～21日	1,571名	524名	33.4%
水 富	9月12日～10月24日	2,223名	796名	35.8%
新狭山	9月12日	314名	58名	18.5%
狭山台	9月12日～11月21日	1,845名	412名	22.3%
計		17,643名	7,196名	40.8%

出席者数は施設入所も含む

13. 障害者福祉

(1) 障害者団体等への協力援助 9件 800,000円

障害者団体の活動や事業に対する助成を行いました。

(2) 助成金交付事業審査委員会 2回

6月25日 1. 平成27年度さやま福祉活動応援助成金の審査について
(プレゼンテーション 9団体)

9月28日 1. 民間保育施設成金の審査について(書類審査 3団体)
2. 歳末地域福祉支援事業助成金の審査について(書類審査 4団体)

(3) 全身性障害者通学等介護人派遣事業(市からの受託事業)

高校・大学へ通う全身性障害者の方を対象とし、全般的な介助を行うため、介護人を派遣しました。

《対象者》 1名

《派遣時間》 240時間

(4) 手話通訳者派遣事業(市からの受託事業)

社会参加の促進を図るため、聴覚障害者の方を対象に手話通訳(情報保障)によって、手話通訳者を派遣しました。

《派遣件数》 726件

《派遣人数》 828名

手話通訳者派遣事業運営委員会（2回）

- 6月23日 1.平成26年度狭山市手話通訳者派遣事業報告
2.登録手話通訳者予防接種費用補助について
3.狭山市手話通訳者派遣事業実施要綱について
- 2月17日 1.平成28年度狭山市手話通訳者派遣事業計画について
2.ホームページのリニューアルについて
3.月刊福祉による取材について

登録手話通訳者会議 2回

- 5月30日 1.インフルエンザ予防接種受診費用について
2.利用者との研修について
3.対象者について
4.通訳現場でのお願い
5.手話通訳者養成講習会講師について
6.手話通訳者派遣事業担当者会議の報告
7.平成26年度派遣件数等報告
8.意見交換
- 2月20日 1.平成27年度狭山市登録通訳者認定試験について
2.平成28年度登録手話通訳者委嘱式について
3.手話通訳者養成講習会開催について
4.緊急搬送の対応結果
5.平成27年度上半期派遣等件数報告
6.透明マスクについて
7.自主学習用教材について

登録手話通訳者研修会

《回数》 2回
《参加者》 10名

手話講習会指導者研修会

《回数》 1回
《参加者》 13名

手話通訳者派遣事務所だより『手輪』

年4回（4月・7月・10月・1月）発行 各回1,000部

聴覚障害者の集い（独自事業）

《回数》 4回

《参加者》 延べ48名

（5）ハンディキャブの貸出・運行

障害により外出が困難な人が積極的に社会参加できるよう、移送サービス等を行いました。

ハンディキャブの貸出

車椅子を利用している方を対象にハンディキャブを貸出しました。

《利用件数》 延48件

ハンディキャブの貸出・運行（市からの受託事業）

車椅子を利用している方を対象にハンディキャブを運行・貸出しました。

運行：《利用者数》 52名

《利用件数》 延1,422件

（6）居宅介護事業（ホームヘルパーの派遣）

居宅介護 《利用件数》 373件

《利用時間》 4,221時間

移動支援 《利用件数》 51件

《利用時間》 153時間45分

同行援護 《利用件数》 60件

《利用時間》 162時間12分

14．児童福祉・母子（父子）福祉

（1）ふれあい里親運動

県内の児童福祉施設で生活する児童を、家庭に招き交流や生活経験の機会を提供しました。

夏期里親運動 4世帯参加

正月里親運動 3世帯参加

(2) ファミリー・サポート・センターの運営(市からの受託事業)

子育てをお手伝いしてほしい方(預ける会員)と子育てをお手伝いできる方(預かる会員)が相互に会員になり、子育てを支援する環境の整備をしました。

会員同士の需給調整等

《会員数》 795名
(預ける会員 590名 預かる会員 145名 両方会員 60名)
《活動回数》 3,074回
《活動時間》 3,239時間28分

《病児、病後児預かり登録》 86名
(利用会員 60名 預かる会員 26名)
《病児、病後児預かり活動回数》 4回
《病児、病後児預かり活動時間》 25時間30分

サブ・リーダー会議 9回

入会説明会 《回数》 9回 《参加者》 44名

研修会 《回数》 18回 《参加者》 171名

全体交流会:「食事会・アトラクション」等

《開催日》 11月28日(土)

《会場》 富士見公民館 ホール

《参加者》 97名

さやまファミリー・サポート・センターだよりの発行

年6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)発行 各回700部

(3) 産前・産後ヘルパー派遣事業(市からの受託事業)

妊娠中または、出産直後の方が、安心して子育てができるように、産前・産後ヘルパーが家庭を訪問し、家事のお手伝い、育児相談を実施しました。

需給調整等

《利用者》 13名
《派遣回数》 54回
《派遣時間》 103時間

産前・産後ヘルパー研修会
《開催日》 9月8日
《参加者》 2名
《内容》 家庭内での援助活動について等

マタニティスクール参加 2名

(4) 狭山市養育支援訪問事業(市からの受託事業)

保護者の養育を必要とされる児童のために、その養育が適切に行なわれるよう、当該要支援児童等の居宅において、養育に関する相談、指導、助言や家事の援助を行いました。

《研修会参加者数》 5名

15. 介護保険事業

(1) 通所介護「デイサービスいなりやま」

介護保険制度の指定通所介護事業所として、通所介護事業を行いました。

《開所日数》 308日

《利用者数》 延8,439名

(2) 訪問介護

介護保険制度の指定居宅サービス事業所として、訪問介護員を派遣する業務を行いました。

要介護

《利用件数》 延512件

《利用時間》 5,412時間23分

予防介護

《利用件数》 延177件

《利用時間》 945時間10分

16. 歳末たすけあい配分事業

(1) 生活困窮者緊急用生活費給付事業 47件 470,000円

生活困窮者自立支援事業の相談の中で既存の制度の狭間にある課題のため、生活困窮状態からの脱却を目指していても生活再建の道筋を立てられない者に対して、緊急用の生活費を給付することで、生活再建の道筋を立てました。

(2) 高校進学支援金給付事業 8校16名 480,000円

市内公立中学校に通う中学3年生のうち、修学の意欲が旺盛で、高校等の進学が決定したものの、家庭の経済的困窮等により、入学準備が十分にできない恐れのある者うち、学校長からの推薦を得られる者に対して、給付型の奨学金を交付しました。

(2) おせち料理宅配事業 150件

80歳以上の外出困難な高齢者世帯や障害者世帯に対し、年末におせち料理を宅配することで、安否確認をしました。

(3) 地域支援事業(障害者団体・福祉施設等への助成)

4件 73,700円

年未年始に障害者団体等が行う諸活動を強化するとともに、それらを通じて住民への理解を深めるため、障害者団体等へ助成をしました。

(4) 民間保育施設助成事業 3件 90,000円

市内の保育施設で行う子育て支援、子育て相談等の推進を図るため、保育施設へ助成をしました。

17. 法外援護

公的保護に該当しないケースに対する援護を行いました。

交通費の援助 15件 7,500円

18. 災害援護

災害にあった世帯に、見舞金の支給をいたしました。

災害援護費 1世帯 20,000円

19．援護資金の貸付

低所得世帯に対し、経済的自立を助長し、生活の安定を図るため、援護資金の貸付を行いました。

- (1) 援護資金貸付審査委員会 開催を要する案件がなかったため開催せず
- (2) 相談件数 123件
- (3) 貸付件数 28件 495,000円

20．生活援護資金の貸付

一時的な生活上の資金を必要とする世帯に対して、生活の安定と生活意欲の助長を図るため、生活援護資金の貸付を行いました。

- (1) 相談件数 (援護資金の相談件数と重複)
- (2) 貸付件数 50件 250,000円

21．生活福祉資金の貸付取扱い(埼玉県社会福祉協議会からの受託事業)

低所得世帯、障害者世帯並びに高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進のため、生活福祉資金の貸付を取り扱いました。

- (1) 相談件数 203件
- (2) 生活福祉資金 16件
生活福祉資金の貸付内訳
(緊急小口資金 10件、福祉資金 2件、総合支援資金 4件)

22．心配ごと相談所

住民のかかえる生活上の悩みごと、困りごとの解決に取り組むため、弁護士による法律関係の相談を行いました。

- (1) 開設日
法律相談(月1回) 毎月第3金曜日
- (2) 相談員
弁護士 1名

(3) 相談実績

相談事項	取扱件数
家族	8件
財産	13件
離婚	5件
医療・事故	2件
近所トラブル	4件
その他	5件
合計	37件

2.3. 福祉サービス利用援助事業（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

判断能力が不十分な方を対象に福祉サービスの利用援助や日常金銭管理サービス及び書類等の預かりサービスを行うことにより、地域で安心して生活を送ることができるよう支援しました。

《契約件数》 25件（新規8件、解約9件）

《生活支援員活動回数》 428回

《相談件数》 1,054件

2.4. 法人成年後見事業（市からの一部受託事業）

「さやま成年後見センター」において、成年後見制度の普及啓発、法人後見の受任、権利擁護に関する総合相談や成年後見制度の申立て支援を実施し、認知症高齢者や知的障害者・精神障害者が地域で安心して生活を送ることができるよう支援をしました。

(1) 相談件数、受任件数等

《受任件数》 5件（累計 9件）
（新規2件、終了3件）

《後見支援員活動回数》 70回

《相談件数》 146件

《申立支援件数》 13件

(2) さやま成年後見センター運営委員会（4回）

6月22日 1.(仮称)私の老後の生き方・暮らし方ノートの作成について

9月14日 1.(仮称)私の老後の生き方・暮らし方ノートの作成について

12月15日 1.成年後見の申立てについて

2月22日 1.平成28年度事業計画(案)について

(3) 私の老後の生き方・暮らし方ノート 1,000部作成

(4) NPO等共催事業

中央公民館、NPO法人さやま後見ネットと成年後見制度に関する普及啓発のための講演会を共催しました。

《日 程》 11月21日(土)

《会 場》 中央公民館 第1ホール

《内 容》 落語「後見爺さん」から学ぶ成年後見制度

《講 師》 桂 ひな太郎 氏(落語家)

《参加者》 54名

(5) 権利擁護法律相談

《開 設 日》 毎月第1金曜日

《相 談 員》 弁護士 1名

《相談実績》

相談事項	取扱件数
成年後見制度	9件
虐待・権利侵害	1件
遺言・相続	12件
その他	11件
合 計	33件

2.5. ふれあいサロンへの支援

身近な生活の場を拠点として、住民である当事者とボランティアが協働で企画し、内容を決め、共に運営していく楽しい仲間づくりの活動の相談、支援を行いました。

(1) 登録団体 35団体(新規5団体)

(2) 研修会 1回

《日 程》 3月23日(水)

《会 場》 社会福社会館 大会議室

《内 容》 サロンで使える脳トレ

《参加者》 31名

(3) 登録講習 5回 延31名

(4) 運営費助成 延51団体 603,809円

26. 福祉機器の貸出

- (1) 車椅子 83件
- (2) その他 12件

27. 人材育成

(1) 手話講習会(市からの受託事業)

手話奉仕員養成講習会(前期)(全21回)、手話奉仕員養成講習会(後期)(全25回)、手話通訳者養成講習会(通訳)(全35回)を実施しました。

《開催日》 4月～3月

《会場》 社会福社会館

《参加者》 手話奉仕員養成講習会(前期) 18名

手話奉仕員養成講習会(後期) 16名(修了者 15名)

手話通訳者養成講習会(通訳) 9名

(2) 社会福祉実習、職場体験学習等の受け入れ

福祉人材の育成のため、社会福祉士等の実習を受け入れました。

6月2日～6月12日(2日間) 西武文理大学 延18名

8月17日～9月17日(25日間) 西武文理大学 1名

11月30日～1月28日(24日間) 日本社会事業大学 1名

28. 福祉出前講座

地域福祉活動についての浸透を図るため、市民からの要望に応え、地域福祉活動に関する出前講座を実施しました。

《講座内容等》「社会福祉協議会」・「成年後見制度」等について 17回延716名

29. デイルームの運営

高齢者等の自立促進を図るため運営していたデイルームについて、参加者の減少から平成27年度から活動を中止しました。

- 《開催日》 毎週火曜日（1回）
- 《会場》 社会福社会館等
- 《参加者》 延1名（ボランティア延1名）
- 《内容》 編み物など

30. 老人福祉センターの指定管理

(1) 老人福祉センターの運営・管理（市からの受託事業）

《利用状況》

施設	開所日数	利用件数	利用者数
宝 荘	308日	15,287件（団体859件、個人14,428件）	30,920名
寿 荘	308日	29,118件（団体536件、個人28,582件）	39,238名
不老荘	306日	47,835件（団体587件、個人47,248件）	56,628名
合 計	922日	92,240件（団体1,982件、個人90,258件）	126,786名

(2) 老人福祉センター自主事業

映写会、福祉・健康・教養講座、グラウンド・ゴルフ、作品展示会等を開催しました。

3館計

- 《事業数》 83事業
- 《参加者数》 24,349名

(3) たまり場活動事業

参加者が自由に交流できる場所の提供を行いました。

施設	開所日	開所日数	利用者数
ひだまり（宝荘）	水曜日	49日	1,315名
こでまり（寿荘）	木曜日	48日	841名
ほのぼの空間（不老荘）	火曜日	33日	386名
合 計	-	130日	2,542名

(4) 健康相談事業

看護師による健康相談を行いました。

施設	回数	相談件数
宝 荘	51 回	1,918 件
寿 荘	47 回	1,730 件
不老荘	42 回	1,544 件
合 計	140 回	5,192 件

3.1 . 社会福社会館の指定管理

(1) 社会福社会館の運営・管理(市からの受託事業)

《開所日数》 330日

《利用回数》 2,130回

《利用者数》 28,824名

3.2 . ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター運営委員会 2回

6月24日 1.副委員長の互選について

2.平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画について

3.ボランティア登録グループへの助成について(審査)

4.新規ボランティアグループの登録について(審査)

3月17日 1.平成28年度ボランティアセンター事業計画(案)について

2.新規ボランティアグループの登録について(審査)

(2) ボランティアグループ代表者会議 1回

《開催日》 4月18日(土)

《内 容》 1.平成27年度事業計画について

2.ボランティア活動助成金の申請について

3.ボランティア活動保険について

《参加者》 19名

(3) ボランティア活動への援助

ボランティアグループ活動費助成 6グループ 515,000円

(4) ボランティア活動の需給調整

区 分	件数	回数	人数
障害者(児)関係	187件	351回	509名
高齢者関係	629件	1,245回	2,051名
その他	122件	182回	676名
合 計	938件	1,778回	3,236名

登録団体 21団体 344名

登録個人ボランティア 227名

新規登録ボランティア(個人) 15名

(5) 関係機関との連携

関係機関(ボランティア連絡会・保健センター・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・保健所等)との連絡調整

(6) ボランティアスクール

ボランティアの発掘、育成のため、ボランティアスクールを実施しました。

あなたにもきっと見つかるボランティア講座

《開催日》 5月(前期)、11月～12月(後期)

《会 場》 社会福祉会館、市内各施設

《内 容》 基礎講座、ボランティア体験、振り返り

《参加者》 延10名

パソコン点訳ボランティア講座(中級ボランティアスクール)

《開催日》 9月～10月(全5回)

《会 場》 社会福祉会館

《参加者》 7名

世代間でふれあう思い出づくり講座

・第1回

《開催日》 8月20日(木)

《会 場》 社会福祉会館

《内 容》 手打ちうどん体験、紙芝居

《参加者》 20名

・第2回

《開催日》 2月28日(日)

《会 場》 老人福祉センター寿荘

《内 容》 そば打ち体験

《参 加 者》 15名

(7) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

《開 催 日》 8月29日(土)

《会 場》 市民会館

《参 加 者》 66名

狭山市総合防災訓練の合同で実施しました。

(8) 彩の国ボランティア体験プログラム

ボランティア活動プログラムを提供し、ボランティア活動へ取り組む機会を提供しました。

《開 催 日》 5月～2月

《メニュー数》 69メニュー

《参 加 者》 延42メニュー 187名

(9) 地区ボランティアセンターの設置

《開 催 日》 4月～3月

《会 場》 鶉ノ木団地集会所

《参 加 者》 10回延べ220名

《相談件数》 20件

(10) ボランティア保険の取扱い及び補助

ボランティア活動が安心してできるようにボランティア保険を取り扱いました。

ボランティア保険加入取扱い件数

・ボランティア活動保険	2,519件
・ボランティア行事用保険	180件
・福祉サービス総合補償	9件
・送迎サービス補償	2件
・ふれあいサロン・社協行事傷害補償	57件

(11) ボランティア通信の発行

年4回(6月・10月・1月・3月)発行 各号800部

(12) 共学支援ボランティア養成講座

地域と学校が連携するためのきっかけを作り、学校を支援するボランティアの育成を図りました。

狭山特別支援学校会場

《開催日》 5月～7月(7回)

《参加者》 1名

所沢おおぞら特別支援学校会場

《開催日》 4月～5月(5回)

《参加者》 参加者なし

(13) ボランティア交流会

《開催日》 2月24日(水)

《会場》 社会福祉会館

《参加者》 20名

《内容》 笑いヨガ、タッピングタッチ、情報交換

3.3. 有償福祉サービスささえあい狭山

(1) ささえあい狭山運営委員会 5回

4月13日 1. 活動実績(稼働、事例)について

7月13日 1. 活動実績(稼働、予算)について
2. 預託制度の検討について

10月19日 1. 活動実績(稼働)について
2. 登録口座の変更依頼について

1月19日 1. 活動実績(稼働)
2. 平成28年度事業計画(案)について

3月14日 1. 事業報告について
2. 運営委員会について

他に移送・家事援助・交流促進・広報の各部会を実施

(2) 需給調整等

《会員数》 546名

(利用会員 420名、提供会員 103名、両方会員 23名)

《活動件数》 9,567件

《稼働人数》 1,439名

《サービス提供時間》 10,066.5時間

(3) ささえあいバスツアー

第 1 回

《開催日》 5月25日(月)

《参加者》 32名

《場 所》 秩父神社、まつり会館

第 2 回

《開催日》 11月17日(火)

《参加者》 38名

《場 所》 江戸東京博物館

(4) 朝市

《開催日》 3回(5月20日、7月22日、11月25日)

《会 場》 富士見1丁目自治会館

《参加者》 1回に10団体の出店で来場者数延110名

(5) ささえあいサロン

《開催日》 3回(9月28日、12月7日、3月8日)

《会 場》 社会福社会館

《参加者》 延67名

《内 容》 手打ちそばを食べながらの交流

(6) 研修会

有償福祉サービスささえあい狭山の活動についての研修会(基礎研修)

《回 数》 4回

《参加者》 延28名

認知症サポーター養成講座 1回 32名

普通救命講習会 1回 16名

(7) ささえあいだよりの発行

年6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)発行 各回600部

34. 第36回社会福祉大会

本大会は、狭山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、市内の社会福祉関係者等が一堂に集い、相互の連携を深め、福祉活動の更なる普及と充実を図ることを目的として開催しました。

- 《日 程》 2月6日(土)
《場 所》 市民会館 小ホール
《参加者》 400名
《スローガン》 「人の輪が育む地域・未来のさやま」
《内 容》 第1部 式典
第2部 講演「災害に強いまちづくり ～白馬村の奇跡から学ぶ～」
第3部 アトラクション「手話落語」
- 《受賞者内訳》 社会福祉協議会会長表彰
- ・社会福祉協議会功労者 4名
 - 社会福祉協議会会長感謝
 - ・多額寄付者(個人・団体)【10万円以上】 3名・6団体
 - ・ボランティアセンター協助者(個人・団体) 12名
 - ・住民参加型在宅福祉サービス協助者 15名
 - ・ふれあい里親 1世帯
 - ・登録ふれあいサロン 1団体

35. 地域わくわく事業

地域が元気になるための、地域を応援する仕組みとして、自治会で行う地域福祉活動に対して助成を行いました。

- 《助成数》 7地区10事業
《主な事業内容》 地域防災親子研修会、学童の登下校「安全・安心」見守り活動
防犯灯LED化推進事業、自治会活動見える化事業 など

36. 狭山市との共催による地域福祉関係事業

(1) 地域のつながりと支え合いを考える集い

- 《日 程》 6月13日(土)
《会 場》 市民会館 中ホール
《参加者》 580名
《内 容》 シンポジウム「振り込め詐欺をぶっとばせ」

- (2) 地域のつながりと支え合いを考える研修会
- (3) 地域のつながりと支え合いを考えるパネル展 3会場
- (4) 地区福祉講座
 - 水富地区福祉講座への協力
 - 講義「サロンを知ろう！サロンに行こう！サロンを作ろう！」

傾聴講座

- ・中央公民館会場
 - 《日 程》 10月～12月(全10回)
 - 《参加者》 21名
- ・秋草学園高等学校会場
 - 《日 程》 1月～2月(全10回)
 - 《参加者》 高校生12名、一般4名

- (5) 地域福祉活動推進研究会 5回 延367名
 - 第1回「地域福祉をはじめよう
 - ～狭山市の地域福祉の現状と課題、取り組みの方向性～」
 - 第2回「行田市トータルサポート体制 ～市民の参加による福祉のまちづくり～」
 - 第3回「コミュニティサロンという仕組みを広げるために」
 - 第4回「ごみ屋敷問題を考える ～ごみ屋敷問題の背景にある課題～」
 - 第5回「地域福祉活動者大交流会 2016
 - ～地域を良くしようと志す皆さんとともに～」

(6) 地域福祉活動等情報検索システム事業

(7) 地域福祉推進計画の進捗管理

地域福祉推進市民会議の開催 4回

- 4月17日
 - 1. 地域福祉関係3部会報告について
 - 2. 地域福祉関係3検討会の設置(案)について
 - 3. 地域福祉活動推進研究会の設置(案)について
 - 4. その他
- 7月17日
 - 1. 地域福祉に関する先進的事例の視察(案)について
 - 2. その他
- 10月16日
 - 1. 地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業の評価について
- 1月15日
 - 1. 地域福祉に関するアンケート調査の実施(案)について
 - 2. 地域福祉活動推進研究会について

3. 平成28年度会議予定(案)について

地域福祉推進計画書の配付等

(8) 地域福祉推進団体のネットワーク化(有償福祉サービス普及検討会、コミュニティサロン活動ネットワークづくり検討会の事務局)

有償福祉サービス普及検討会 4回

コミュニティサロン活動ネットワークづくり検討会 10回

37. 収益事業

(1) 飲料水等販売手数料収入 158,364円

自動販売機設置場所：老人福祉センター3館(宝荘・寿荘・不老荘)
サンパーク奥富、教育センター

(2) 切手及び収入印紙の販売手数料収入 274,549円

社会福祉会館での販売のほか、市役所及び会社等へ販売しました。

38. 災害支援

(1) 常総市災害ボランティア

平成27年台風18号等大雨災害の被害が甚大であった茨城県常総市に災害ボランティアを派遣しました。

ボランティアバスの派遣

《日程》 9月21日(月)

《参加者》 14名

社協車両による派遣

《日程》 9月～10月(全5回)

《参加者》 延33名

(2) 災害義援金 18,621円

埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

茨城県台風18号等災害義援金

屋久島町口永部島新岳噴火災害義援金

栃木県台風18号等災害義援金

平成27年台風第18号による大雨等災害義援金
台風21号与那国町災害義援金